

社団法人 神奈川県理学療法士会 2009年度第5回理事会議事録

I. 日 時：2010年2月6日（土） 15:00～19:20

II. 場 所：神奈川県理学療法士会事務所

III. 理事定数：15名

出席理事：神内擴行、秋田 裕、萩原利昌、隆島研吾、林 克郎、炭 孝昭、広瀬好郎、大槻かおる、
中村さち子、惣田 洋、露木昭彰、畠中泰司、菅原憲一、湯田健二

欠席理事：松永篤彦

出席監事：井上 保

出席事務局長：山口泰成

出席書記部員：田中さえ子

出席事務局員：松岡明子

IV. 議長団選任

議長：神内擴行

副議長、議事録署名人は出席理事の下記のように互選にて選出された。

副議長：萩原利昌

議事録署名人：秋田 裕、林 克郎

V. 配布資料

- ・2009年度第5回理事会議事案
- ・2009年度第4回理事会議事録
- ・2009年度第6回常任理事会議事録
- ・第27回通常総会資料
- ・事務局理事会資料
- ・2010年度会議日程（案）
- ・職員永年勤続表彰規定（案）
- ・平成22年度、書記係りの廃止について
- ・会費未納者リスト
- ・2010年度神奈川県理学療法士会カレンダー（案）
- ・総務部、新人オリエンテーション係理事会資料
- ・平成22年度理学療法士講習会申請リスト
- ・特別新人教育プログラム（仮称）研修会の実施について
- ・代議員会提出議題
- ・学術大会部報告
- ・学術サークル助成事業応募サークル
- ・公益事業推進部資料
- ・難病情報センターのご案内

VI. 議事内容

(1) 会長挨拶・会長行動報告

(2) 第4回理事会議事録承認の件

2009年度第4回理事会議事録が確認の上、承認された。

(3) 第27回通常総会資料最終確認の件

総会資料の事前確認がされ一部変更があったと報告されたのち、承認された。

総会当日出席者より立候補がない場合、理事会推薦として議長団を選定する必要がある、以下のとおりとなった。

議長：坪内敬典氏（茅ヶ崎リハビリテーション専門学校）、副議長：杉浦雅美氏（茅ヶ崎新北陵病院）、書記：加藤幸弘氏（寒川病院）・齋藤和男氏（新戸塚病院）、議事録署名人：安藤岳彦氏（クローバーホスピタル）・斉川大介氏（藤沢湘南台病院）に依頼することが承認された。

(4) 次年度理事・役員推薦の件

- ・南谷選挙管理委員長より、理事立候補 8 名、監事立候補 1 名との報告と、理事会推薦依頼があったことの報告があった。
- ・1 名の監事（外部から 1 名推薦の合計 2 名）、および 7 名の理事立候補者推薦の依頼に対し、監事に君嶋武司氏、安藤徳彦氏、理事は炭孝昭氏、惣田洋氏、露木昭彰氏、湯田健二氏、清水忍氏、佐藤史子氏、太附広明氏を推薦する事が承認された。

(5) 次年度士会組織・名称変更等承認の件

- ・書記係を廃止することが承認され、議事録作成は事務局員が、議事録作成に関する業務管理はニュース編集部担当理事が行うこととなった。
- ・組織検討委員会が組織強化委員会に、第 49 回日本理学療法学会誘致対策委員会が第 49 回日本理学療法学会準備委員会に名称変更する事が承認された。

(6) P T 協会臨時士会会長会議出席の件

- ・協会より臨時都道府県士会会長会議の案内があり、隆島研吾副会長のほか、訪問リハビリテーション地域指導者候補者として露木昭彰理事が参加する事が承認された。

(7) 各局・部・委員会よりの報告

1 事務局

①各種団体よりの依頼事項の件

- ・神奈川県社会福祉士会より「ケアマネジメントサポート研修会」講師派遣依頼があり、芝原修司氏（横須賀市役所）を推薦することが承認された。
- ・横浜市福祉用具協会より「高齢者・障害者のための住宅改修実践セミナー」の後援依頼があり承認された。
- ・協会より『脳卒中対策基本法（仮称）』の早期制定のための請願書への取組みの依頼がありホームページに掲載することとなった。
- ・協会より「ダイヤモンドファクターによる自動振替終了後の対応について」の案内があり、継続してホームページと士会ニュースで会員証作成の案内を掲載することとなった。
- ・神奈川県医療専門職連合会より本会会議室使用許可の申請があり、承認された。
- ・神奈川リハビリテーション病院より「理学療法士卒後研修」の後援依頼があり承認された。

②その他

- ・前回理事会より入会 2 名、転入 8 名、休会 7 名、復会 1 名、退会 2 名、県内異動 22 名があり 2 月 6 日現在、会員数 2,850 名が承認された。
- ・新人オリエンテーションは 5 月 9 日（日）県立保健福祉大学で開催することが承認された。当日開催の講演は、新人教育プログラム 1 年次 5. 理学療法トピックスに単位認定とし、受講費は無料とすることが承認された。
- ・第 28 回通常総会は 6 月 27 日（日）県立保健福祉大学で開催することが承認され、告示について確認された。その他 2010 年度の会議予定について確認された。
- ・職員永年勤務表彰規定が承認された。
- ・事務局員 1 名が 1 ヶ月程度の病気療養のため、週 1 日程度の派遣社員を雇用することが報告された。
- ・本会会費未納者リストについて確認された。
- ・本会会員管理用のパソコンが故障したため、新しく購入したことが報告された。

- ・本会コピー機の機能向上のため、2月半ばにユニカに変更することが報告された。
- ・本会発送作業は、次年度より横浜市総合リハビリテーションセンター就労支援施設に依頼することが報告された。

2 学術局

①関ブロ特別新人教育プログラム（仮称）研修会の件

- ・現在ある「必須教育プログラム」と同様、対象者が会員歴11年目以上の未修了者であり、次年度に対応策などを検討する必要があることが確認された。

②関ブロ士会スタッフ・研修部担当者会議報告の件

- ・平成22年度以降、理学療法講習会の申請方法について個人申請は認められず、都道府県士会からの申請のみとなったことが報告された。
- ・本会員からの平成22年度理学療法講習会申請の7題目を、本会として申請することが承認された。
- ・平成23年度以降の理学療法講習会（応用編）の運用について、協会に確認することとなった。

③士会サークル申請承認の件

学術サークル助成事業に申請した12サークルが承認され、予算の不足分2万円は雑費から執行することが承認された。

④学術関係問い合わせの件

- ・本会ホームページのご意見箱に本会主催講習会の受講料の妥当性に関する問い合わせが寄せられ、他士会と比較検討することとなった。
- ・新人教育プログラム修了認定証が年1回しか発行されず、その間申請者に連絡がないとのことで問い合わせがあると報告があった。改善策として、本会担当が申請を受理した旨を申請者へ連絡できるよう検討することとなった。また協会に対しては修了証の発行に関して頻度を改善するよう要望することとし、代議員会提出議題として総会にて審議することとなった。

⑤その他の事業報告

- ・学術誌編集部より会報は最終稿まで進行中と報告があった。
- ・学術大会部より神奈川県理学療法士学会準備委員会設置スケジュール案が提出され、大会長は任期を2年とすることが提案され、引き続き検討することとなった。
- ・第3回講習会の収支報告において、受講費5名分計1万円の未集金が発生したことが報告され、今後、受付人数の充実やシステムの改善を図っていくこととなった。

3 社会局

①各種公益事業承認の件

- ・神奈川県リハビリテーション支援センターより「第6回かながわ地域リハビリテーションフォーラム展示コーナー」へのブース出展が承認された。
- ・相模原市より高齢者向け介護予防体操冊子の監修依頼があり承認された。
- ・平塚市より障害者自立支援法における市町村審査委員会の委員推薦依頼があり、沼田浩吉氏（平塚共済病院）を推薦することが承認された。
- ・大磯町長より大磯町介護認定審査会委員の推薦依頼があり、神内擴行氏（横浜リハビリテーション専門学校）と矢田千世氏（自宅会員）を推薦することが承認された。

②その他の事業報告

- ・公益推進事業部より「サクラノート」の取材可能な会員の推薦依頼があり、該当する会員と打ち合わせをすることとなった。

- ・会員ライフサポート部よりリカレント教育委託事業が終了したことが報告され、協会からの委託金は雑収入として処理することが承認された。事業の参加者は1名であった。
- ・会員ライフサポート部より、次年度よりメール部員（仮称）をメールや士会ニュースで募集することが承認された。
- ・会員ライフサポート部より育児中の会員のための研修会が終了したと報告があり、会員6名とお子さん5名が参加したとのことであった。

③医療専門職連合会報告

- ・3月17日（水）に総会と総会時講演を神奈川県民サポートセンターで開催することが報告された。
- ・次期会長は神奈川県放射線技師会の窪田宗雄氏、副会長は神奈川県臨床工学技師会と神奈川県作業療法士会の会長が行うと報告された。

4 その他の委員会

①その他

- ・神奈川県医療専門職連合会より2月20日刊行物は、3月士会ニュースに同封されることが報告された。また平成22年度広報委員に大槻かおる理事を推薦することが承認された。
- ・公益法人化対策委員会より、本会が公益社団法人に移行することの確認があり改めて承認された。また、第27回総会の議案のその他に追加することが合わせて承認された。

以 上